



地域をきれいに

小中合同クリーン作戦・9/29

No.5

高野小学校と高野中学校の児童生徒87人が、上高自治振興センター周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、小中学生が地域へ感謝の気持ちを伝えるため毎年行われてきましたが、コロナ禍の影響で2年中断され、今回3年ぶりの開催となりました。

上高自治振興センターに集合した児童生徒は、4グループに分かれて、中学3年生の生活・美化委員会を中心に、草取りやゴミ拾いを行いました。

閉会式で、高野中3年奥田真央さんは「小学生と協力できて良かった。これからも、お世話になっている地域に自分達のできることをしていこう」と話しました。



▲清掃活動を行う児童生徒

最先端技術に触れる

ICT建設技術の見学・10/14

No.7

庄原実業高校2年生30人が、国道183号鍵掛峠道路工事で用いられるICT技術を、実際の建設現場で見学しました。国土交通省は、建設現場でのICT活用とそれによる生産性向上を図っており、この道路工事でもさまざまな技術が活用されています。

今回は、専門家の説明を受けながら、ICTにより機械の操作をサポートする「マシンガイド」を搭載したバックホーへ試乗したり、空から現場を確認するドローンの操作を体験したりと、さまざまな最先端機器に触れました。

生徒は「土木の最先端技術に触れることができ興奮した」「機械にいろいろな機能が付き、効率的になったことが分かった」と刺激を受けた様子でした。



▲ICT建設機械の説明を受ける生徒

初めて育てたサツマイモ

西城保育所 サツマイモ収穫体験・10/14

No.4

西城保育所園児33人が、園庭で育てたサツマイモを収穫しました。

このサツマイモは、春に園児一人一人が自分たちの手で植え、これまで育ててきたものです。JA庄原営農販売部が地域貢献活動の一環として苗を提供し、育て方の指導をしてきました。

収穫当日、園児は2～3人がかりで、土に埋まったサツマイモを力いっぱい引っぱりました。すると、たくさん実ったサツマイモが顔を出し、周囲から歓声が上がりました。園児にとっては初めての体験で「でっかいの、とれた!」「楽しかった」「来年もイモ掘りをしたい」と興奮した様子でした。



▲協力してサツマイモを引き抜く園児

親子で楽しむイベントを開催

ママ友交流サークル・9/21

No.6

庄原自治振興センターで「ママ友交流サークル」が開催されました。

庄原自治振興区は、子育て支援事業の一つとして「ママ友交流サークル」を毎月一回開催し、安心して子育てができ、母親と地域の人と交流できる環境づくりに取り組んでいます。

今回は、子どもが手を汚さずにアートを楽しむことができる「フィンガーペイント」が行われました。

参加者は紙に絵の具を出し、フィルムを引いた後、赤ちゃんの指や手の平で、絵の具を押ししたり伸ばしたりして、絵の具の触感を楽しんでいました。

参加した保護者は「おしゃれな作品に仕上がりに、良い記念になった」と満足そうに話しました。



▲フィンガーペイントを楽しむ親子

交通事故のない地域を目指して!

秋の全国交通安全運動・9/21～30

No.1

秋の全国交通安全運動期間に伴い、市内各地で啓発活動が実施されました。

この運動は交通ルールの厳守と正しい交通マナーの実践を習慣にし、交通事故防止の徹底を図ることを目的に全国で実施されているものです。

庄原地区交通安全協会口和分会では、交通安全啓発物品「自転車反射キーホルダー」が、口和小学校と口和中学校に寄贈されました。このキーホルダーは、7月14日に口和町内の交通死亡事故未発生連続3千日を達成したことを記念し、これからは引き続き交通事故のない地域の実現を願い寄贈されたものです。

キーホルダーを受け取った口和小の犬里康暁校長は「大切に使用させていただきます」と感謝を伝えました。

総領分会では、交通安全テント村が行われ、総領保育所の園児8人が参加しました。交通安全テント村は、国道を通る車に交通安全を呼び掛けるイベントで、本年は市役所総領支所前で行われました。

園児は、車で通りかかったドライバーに「交通安全お願いします」と元気よく呼び掛けながら、自作した交通安全のしおりや反射リストバンドなど、交通安全啓発グッズを手渡し、受け取ったドライバーは思わず笑顔になっていました。



▲口和小児童へキーホルダーを贈呈(口和分会)



▲ドライバーに啓発品を手渡す園児(総領分会)

秋の味覚 キノコを知る

キノコ観察会・10/10

No.3

比和自然科学博物館友の会が、キノコ観察会を開催し、会員12人が参加しました。

このイベントは、博物館の活動支援などを行っている同会が、自然を楽しみ、知識を習得するため、毎年10月に開催しているものです。

当日は、比和町内の山で自生しているキノコを採取し博物館に持ち帰り、種類ごとに並べた後、食用キノコの判別方法や、毒の有無について講師による詳しい説明が行われました。

参加した会員は「1つの山の中だけでも50種類以上のキノコを見つけることができ、比和の自然の豊かさを再確認できた」と話しました。



▲キノコの解説を聞く参加者

庭づくりを学ぼう!

庄原ガーデンセミナー2022・10/1

No.2

秋の庄原さとやまオープンガーデンを会場に「庄原ガーデンセミナー2022」が開催されました。

このセミナーはお花に関して学習や体験ができるもので、テーマに応じて3回に分けて開催されました。

第1回目となる今回は、世界的ガーデナーであり庄原ふるさと大使の石原和幸さんを講師に迎え、市内3カ所の庭を巡りながら庭づくりのポイントを学ぶバスツアーが行われました。

当日は、17人の参加者が質疑応答を交えながら、熱心に石原さんの講座に耳を傾けていました。

参加者は「実際に庭を見て回りながらのアドバイスはとても分かりやすかった。これからの庭づくりの参考にしていきたい」とうれしそうに話しました。



▲庭づくりについて解説する石原さん(写真右)